



右馬元太王

山ゆりが 今を盛り^に庭のあちらこちらで咲いていて
 その足元にあじさいが 静かに咲いています。程よく香
 りが 右馬元を包んで 友子母の散歩を楽しくさせてく
 います。ふし黒せんうや モニブレアの朱色が 暑さに
 マッチして 頑張っているやうな感じがします。レンジョウマ
 緋扇。ツリア。グランドオラス など 夏のお花が 咲き乱
 れておりますが 萩の花も 咲き始めて 暦の上での秋は
 現実のものとなっております。お盆は これから 忙し
 々な暑さを 過ごしました。皆様 お変わりなく お元気で
 いら、しゃいますでしょうか。こちらは 友子母を はじめ
 皆 元気で それぞれに やっております。長女又美は 先
 日 光聖の 継走を 3泊4日の 行程を たった1人で や
 った帰りました。(2011.2.11)
 20kgの リュックを 背負い 念願の 継走
 を 果たし 自身に ちっとも 自信が 持てた ような 感じに見
 とし 私たちも 喜んで います。無事と 帰って 何より した
 息子二人は 魚釣りに 熱心です。父親も 仲間
 に入れてもらえ 手ほどきを受けながら やっているよう

ですか 釣りというのも 難かしいようで 〇匹と 帰ってくる
 こともしばしば。そと二人の息子が フォーして よやく
 6匹とか 9匹とか。30匹くらい 釣って 帰る日もあるで
 お そちら辺が おもしろいと ころ 噂の 釣り場 と思っながら 眺
 めています。先日 はじめて 魚の 塩焼きを 食べさせて くれま
 した。魚の 香りと 味も 良く。食した者 と 幸福に してくる
 一品である ことを 確認いたしました。

同級生の 飯島さんか 中央構造線 を 歩きはじめました。こ
 れは "メテオライン" と 呼ばれるもので 諏訪地方から 四国
 愛媛県 佐田岬に 抜けて います。清次さんといっので 以後 Sさんと
 書きますが 秦野市に 住んでいます。今回は 13日の 土曜日。下諏
 訪から 歩きはじめた 長谷。入野谷の 生涯学修センター まで。14分
 分 坑峠を 越え R152 を 右に 右馬元へ 向って 歩い
 て 5時過ぎに 到着。ヨレヨレになるほど なく 礼節を保て
 食事を楽しみ、翌朝 伊那大島 駅に 向って 8時に 出発。生田の
 峠を 経て 部奈から 右馬元 駅に。途中の 道は 不案内だ
 というのに。ちゃんと 8時の 電車に 間に 合せて 家に 帰って
 きました。電車の中で 汗に 濡れた 服を 変えた そうですかど
 うするの だろうと 想像しながら すごい 同級生か。いる ところ
 と ちっとも 鼻が高いです。次回は 9月。右馬元からの スタ
 ートです。ちびみに 中央構造線と フォッサマグナの 交わる ところ
 は 杖突峠 かなと そうです。ここからの 旅 楽しみます。